

化学品など超精密加工

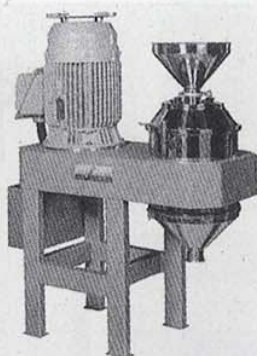
グローバル市場で攻勢

多機能高速粉碎機

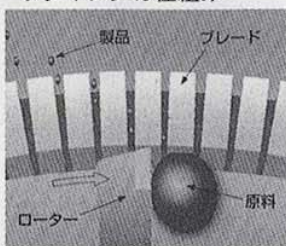
粉碎機専門メーカーの増幸産業(埼玉県川口市、電話048-222-1434)は、超高速回転を実現した精密粉碎機を戦略商品に位置付け、グローバル市場で攻勢をかける。同装置は高速回転するローターと、ブレードの動きによる強力なせん断力で化学品、食品、化粧品な

増幸産業

どをミクロン単位でカッティングする多機能高速粉碎機。超高速回転の精密粉碎機は米国企業が世界市場をほぼ独占していたが、8年前に同社が開発に成功して以来、両社で激しい競争が続く。すでに日本では採用が相次いでおり今後、世界市場でもシェア拡大を目指す。



ミクロマイスター(上)。ローターとブレードの間隔300ミクロンを保ち超高速回転で加工する超精密カッティングの仕組み



用途に応じカッティングヘッド3種

国内では米トップ企業を追撃

採用本格化 増幸産業の超高速回転が可能な精密粉碎機であるカッティング装置「ミクロマイスター」は、長年培った粉碎機技術を活用し製品開発したもので、構造は、1分間に約1万2000回転という超高速回転するローターと、その外周に約200個配列されたブレードのエッジを特徴とする。特徴は目的生産物に合わせて粗粉碎、微粉碎、超微粉碎が可能で、また、超高速回転するローターと固定したブレードの動きで安定した粒度分布を実現でき、粉砕・乳白・均質化など多様なニーズに対応できる。

た。これはローターとブレードのわずかな間隔を保ちつつ、超高速回転させる精密加工が技術的に極めて困難であった

市場で米国企業の追撃を開始していた。日本では化学品、化粧品、香料、医薬品、食品など広範分野で採用が本格化しつつある。また韓国、台湾、中国など海外ユーザーの反応も良好という。今後は用途に応じ3種類のカッティングヘッドを用意できる特徴をアピールし、世界でのシェアアップを目指していく。

高精度な表面検査システム

ABB、フィンランド・ステンレス企業に納入

ABBの高精度な表面検査システムが、フィンランドの大手ステンレスメーカーに採用された。同社は、高速デジタルカメラと照明システムなどの併用に、最新のソフトウェアを併用することにより、コイル、鉄板、スラットなどの欠陥を検出し、品質向上に役立てるもの。すでに世界各地で1000基以上が設置されている。今後、日本市場を含めたグローバル市場で積極展開し、事業基盤を拡大していく。

米に組立工場建設

三菱重工 来年後半から生産

三菱重工は7日、米国アイオワ州に風力発電設備の組立工場を建設すると発表した。同設備の中核機器で、タワー頭部にある風力を電力に変えるナセルの生産を2011年後半から開始する。当面の生産能力は、S.A.本社(ワシントン州)の2倍に達する見込み。新工場は同州フォートスミス市に建設し、原動機事業の米国拠点である。ナセルは風車の回転軸、発電機・増速機・制御装置・電気設備などで構成される。同社が海外

熱回収ごみ焼却施設受注

日立造船 秦野市伊勢原市向け

日立造船は7日、神奈川県秦野市伊勢原市向けの熱回収ごみ焼却施設受注を発表した。施設は、秦野市伊勢原市に建設され、2011年後半から稼働する。日立造船は、この施設に、熱回収装置、排ガス処理装置、灰処理装置などを納入する。また、日立造船は、この施設に、熱回収装置、排ガス処理装置、灰処理装置などを納入する。また、日立造船は、この施設に、熱回収装置、排ガス処理装置、灰処理装置などを納入する。

日立造船は、この施設に、熱回収装置、排ガス処理装置、灰処理装置などを納入する。また、日立造船は、この施設に、熱回収装置、排ガス処理装置、灰処理装置などを納入する。また、日立造船は、この施設に、熱回収装置、排ガス処理装置、灰処理装置などを納入する。